

校長室から

(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 51

平成31年1月28日(月)発行

3学期は、0学期と考えよう

先日、ある学校の先生から、「本校では、3学期をまとめの学期の位置づけから、次の進学・進級年度の0学期として位置づけています」というお話を聞きました。私は、「なるほどなあ…」と思いました。

学校は年度制を使っていますから、現在は平成30年度の3学期です。みなさんは今の学年の3学期を過ごしています。そしてこの3学期は、学年の最後の学期なので、まとめの時期ということになります。

でも、世間では年が明けて、平成31年となっています。そしてこの4月から、みなさんは進学・進級し、新しい学年の1学期がスタートします。数字の始まりは0からです。そう考えれば今は1学期の前の0学期と考えることもできますよね。つまり、この3学期に今の学年のまとめをしっかりとすることが、次の新しい学年の1学期の準備になっているという意味で、0学期とも考えられるということです。新年を迎え、この3学期を次の年度のスタートの0学期ととらえ、意欲的にチャレンジしてもらおうという考え方は、非常に前向きでステキな発想ですね。

自分の意識を少し変えるだけで、学校生活への意欲は高くなります。是非、この3学期をみなさんの新しいステージの準備の時期、0学期と考えて生活していきましょう。もちろん、これまでの生活を振り返り、反省点を改善することは前提ですから、まとめの学期の意味も忘れないでください。

食べ物に感謝する

先週は、市の学校給食週間でした。本校でも給食の時間に、給食委員会の5・6年生が作ってくれたビデオで「調理員さんの仕事」を知り、朝の児童朝会では、「食事のマナーや給食全体について」のビデオを観て学びましたね。

給食が始まったのは、今から125年以上前で、山形県の小学校が最初でした。その時のメニューは、「おにぎり、サケの塩焼き、つけもの」といわれています。そういえば、今日の私たちのメニューは何でしょうか。それを楽しみ

ひ とつにみんなでまとうろう！
が くりょくと体力をのばそう！
し っかりせいかつしよう！
な かよく友だちとすごそう！
ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子
い っしょうけんめい勉強する子
う んどうが好きな子
え がおでやさしい子
お そうじをがんばる子

に毎日、学校に来ている人もいないのではありませんか。

ところで、給食の時、みなさんは「いただきます」と「ごちそうさま」を言いますが、なぜ、このように言うのか知っていますか？ それには、3つの感謝の気持ちがあると思います。

一つ目は、給食を作ってくださる調理員さんに対する「作ってくれてありがとう」という感謝の気持ち。二つ目は、野菜やお肉、果物を生産してくださる農家の人たちへの、「私たちのために育ててくれてありがとう」という感謝の気持ち。そして三つ目は、私たちが元気に成長するために食べ物となった生き物への感謝の気持ちです。



私たちが、毎日健康で元気に生活できるのは、多くのいのちをいただいているからであることを忘れてはいけません。元気でいられるのも、運動ができるのも、野菜やお肉、魚などのいのちをいただいているからです。苦手なものや嫌いなものもあるかもしれませんが、食材のことを少しでも考えて、給食や家での食事ができると、野菜やお肉、魚もきっとうれしに違いありません。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール6 だれかに質問されたら、お返しの質問をしよう

だれかに「夏休みは楽しかった？」と聞かれたら、その質問に答えてから、「〇〇さんはどうでしたか？楽しい夏休みでしたか？」と質問を返そう。
●だれかがきみに関心をもってくれたときは、きみも相手に関心をもっていることを示すのが礼儀だ。きみが相手に関心をもっていることを示せば、相手はきみにもっと関心をもってくれる。